

歴史能力検定 第41回（2022年）

3級—世界史 解答・解説

1—③	2—④	3—③	4—②	5—④
6—②	7—①	8—①	9—③	10—③
11—②	12—③	13—③	14—①	15—④
16—①	17—④	18—②	19—③	20—①
21—②	22—③	23—①	24—①	25—④
26—②	27—①	28—④	29—①	30—④
31—③	32—①	33—④	34—④	35—③
36—④	37—③	38—②	39—③	40—②
41—①	42—②	43—③	44—④	45—③
46—①	47—③	48—①	49—④	50—②

1

- ①印欧系のギリシア人の一派。②メソポタミアに最初に定住した、系統不明の民族。④前1500年頃、インドのパンジャーブ地方に侵入した印欧系の民族。
- ①③ヘブライ人の王国の、最盛期の王。②キリスト教における使徒の一人で、異邦人への伝道で知られる。
- ①背教者と呼ばれたのはユリアヌス帝。テオドシウス帝はキリスト教を国教とした。②『神学大全』ではなく『神の国（神国論）』。『神学大全』は、13世紀のスコラ学者トマス・アクィナスの著書。④カルケドン公会議では單性論が異端とされた。アタナシウス派は正統の教説。
- ③④イ：ヴァルダマーナはジャイナ教の開祖。
①③ウ：カニシカ王はクシャーナ朝の王。
- ①スマトラ島に成立したイスラーム教国。②スマトラ島に成立し、大乗佛教が信仰された国。③アフリカ南部の国。
- ③aの開城は高麗の都。
- ④bのポタラ宮殿は、チベットの都ラサに建設された。
- ①斉ではなく陳。斉は南朝2番目の王朝。
- ①『四庫全書』は清代に編纂された書物。②理藩院ではなく市舶司。理藩院は清代におかれた、藩部を統轄する役所。④トウモロコシやサツマイモはアメリカ原産で、中国では清初の頃から普及した。
- ①明代に、世界地図の「坤輿萬国全図」を作成した。
②清代に、実測中国地図の「皇輿全覽圖」の作成に加わった。④13世紀に、フランス王ルイ9世の使者としてモンゴ

ル帝国の都カラコルムをおとずれた。

2

- ①ヴォルテールの著書。③古典派経済学を開いたアダム＝スミスの著書。④ネーデルラントのエラスムスの著作。
- ①財産政治をおこなった人物。②スバルタの伝説的立法者。④ポエニ戦争で活躍したローマの将軍。
- ①ローマのオクタヴィアヌスが、前31年にプロトライオス朝のクレオパトラと結んだアントニウスを破った戦い。
②フランス軍が、1805年にイギリスのネルソンに敗れた戦い。④オスマン帝国が、1571年にフェリペ2世治下のスペインなどに敗れた戦い。
- ③④イ：スバルタを建てた民族。②④ウ：前4世紀に制定された、コンスル（執政官）のうち1名を平民（プレブス）から選出することなどを規定した法律。
- ①共和政末期の前1世紀に、スバルタクスの乱がおこった。
②共和政末期の前1世紀の同盟市戦争を機に、イタリア半島の自由民に市民権が付与された。③ササン朝のシャー・ペル1世に敗北した。
- ①I・IIとも正しい。
- ①バラ戦争を終結させてテューダー朝を開いた国王。
②ノルマン朝の開祖。③ハノーヴァー朝の開祖。
- ①ハインリヒ4世が、教皇グレゴリウス7世に謝罪した。
フィリップ4世はアナーニで教皇ボニファティウス8世をとらえた。③コルベールはルイ14世の財務総監。ルイ16世はチュルゴー・ネッケルを登用した。④ルイ＝フィリップ

は七月革命で即位し、二月革命で退位した。

19. ③Ⅲ議会がチャールズ1世に権利の請願を提出したが、王は議会を解散した。Ⅰ再招集後の議会で王党派と議会派が対立してピューリタン革命がおこり、チャールズ1世が処刑された。Ⅱ王政復古で即位したチャールズ2世に対し、議会が公職就任者を国教徒に限定する審査法を制定した。
20. ②第二次世界大戦後の保守党の首相。③1938年にミュンヘン会談を主導した首相。④19世紀の自由党の首相。

3

21. ①清代に普及した税制。③唐代の後半に創始された税制で、錢納が原則。④隋・唐で施行された税制。
22. ②ア・イ：徐光啓が農業に関する『農政全書』を著した。
23. ②九品中正は、三国時代の魏で創始された官吏登用制度。③明の洪武帝の政策。④秦の始皇帝の政策。
24. ②唐の第2代皇帝。③明を滅ぼした農民反乱の指導者。④明の創始者の洪武帝。
25. ①aのカイロはファーティマ朝がエジプトに建設した都。
26. ②Ⅱ正統カリフ時代の7世紀の出来事。Ⅲ11世紀、セルジューク朝のトウグリル=ベクがブワиф朝を追ってバグダードに入城した。Ⅰ16世紀に、エジプトのマムルーク朝がオスマン帝国のセリム1世に滅ぼされた。
27. ②『四行詩集（ルバイヤート）』をつくった詩人。③『三大陸周遊記（旅行記）』を著した、モロッコ生まれの旅行家。④イル=ハン国の宰相で、『集史』の作者。
28. ①インド西部のカリカットに到達してインド航路を開拓したポルトガル人。②パナマ地峡を横断したスペイン人。③スペイン王の支援でサンサルバドル島に到達した人物。
29. ①I・IIとも正しい。
30. ①14世紀の出来事。②7世紀末に、大祚榮が高句麗の遺民らを率いて渤海を建てた。③スペインではなくポルトガルが、16世紀にマカオの居住権を獲得した。

4

31. ①②ア：10世紀にロロが北フランスに建てた国。
- ②④イ：この河畔にローマが建国された。
32. ②マレー半島の港市国家で、明との朝貢貿易などで繁栄したが、16世紀にポルトガルに滅ぼされた。③メキシコに栄えた国。16世紀にコルテスに滅ぼされた。④ガリア東南部の、ゲルマン人国家。
33. ④色目人ではなく南人。色目人は西域などの出身者で、官僚などに重用された。
34. ①②ウ：10世紀に即位したキエフ大公で、ギリシア正教に改宗した。①③エ：イランにおける皇帝の称号。
35. ①三十年戦争に参戦したスウェーデン王。②「太陽の沈まぬ国」を現出したスペイン王。④トゥール・ボワティエ間の戦いでウマイヤ朝を破った、フランク王国の宮宰。
36. ①イタリア戦争の講和条約。②19世紀にロシアと清が結んだ、中央アジアの国境などを定めた条約。③19世紀にロ

シアと清が結んだ条約で、アムール川以北がロシア領となつた。

37. ③Ⅰアメリカ合衆国の独立に反対したのではなく、イギリスを牽制して独立を支援した。Ⅱは正しい。
38. ①バヤジット1世は敗北した。③スレイマン1世ではなく、メメト2世がビザンツ帝国を滅ぼした。④ハンガリーをオーストリアに割譲した。
39. ③フランス第五共和政のドニゴー大統領が、1966年にNATOの軍事機構からの脱退を表明した。
40. ①バルト3国のエストニア。③チェコ。④ルーマニア。

5

41. ①日本は、「鎖国」中もオランダ・清などとの交流を維持した。②③ともにカトリック国で、来航を禁じられた。④アメリカ合衆国のペリーが、1853年に開国を求めて浦賀に来航し、翌年日米和親条約が結ばれて日本は開国した。
42. ①力織機の発明者。③ミュール紡績機の発明者。④電信機の発明者。
43. ①ナポレオン=ボナパルトが総裁政府を倒したクーデタ。②19世紀末、第三共和政時代のフランスでおこったスパイ容疑事件で、これを機にユダヤ人国家の建設をめざすシオニズムが高揚した。④19世紀末、アフリカで縦断政策を進めるイギリスと横断政策を進めるフランスが遭遇した事件。
44. ④これは、義和団事件の北京議定書（辛丑和約）の内容。
45. ③Ⅲ1882年に大院君派軍隊による壬午軍乱（壬午事変）がおこり、その後、党派の争いが激化した。Ⅰ1884年に開化派の金玉均らによる甲申政変（甲申事変）がおこった。Ⅱ1894年に全琫準が指導する甲午農民戦争がおこり、これを機に日清戦争が勃発した。
46. ②シンガポールは、東南アジアのマレー半島南端にある、イギリス領海峡植民地の一つで、第二次世界大戦後に独立した。③アフリカのガーナは、1957年にイギリスから独立した国。④カリフォルニアは、アメリカ=メキシコ戦争でアメリカ合衆国がメキシコから獲得した領土。
47. ①19世紀前半に、アブデュルメジト1世が西欧化政策のタンジマートを開始した。②朝鮮で1919年に、三・一独立運動がおこった。④エジプトで、19世紀後半におこった。
48. ④bの血の日曜日事件は、日露戦争中の1905年にペテルブルクでおこり、第1次ロシア革命の契機となった事件。
49. ①不戦条約締結に尽力した、フランスの外務大臣。②第二次世界大戦後にマーシャル=プラン（ヨーロッパ経済復興援助計画）を発表した、アメリカ合衆国の国務長官。③アフリカで帝国主義政策を進めた、イギリスの政治家。
50. ①世界恐慌前の1923年に、ルール占領を機に生じた混乱を利用してナチスがミュンヘン一揆をおこした。③19世紀前半、ジャクソン大統領によって先住民強制移住法が制定された。④世界恐慌前の1920年代に進められた。